# 寺報　龍正寺

日なた　220号




＜令和　8年　9月＞

宝龍会

護持会

令和八年九月秋季彼岸会

南無妙法蓮華経

遥善供養

宝雲山龍正寺

# ◎住職一言◎

秋の彼岸を迎える時が来ました、彼岸は彼の岸から此の岸へと来られるのです、御先祖様を初め父母の彼岸供養をいたしませんか必らずお待ちなさってます。

「日蓮大聖人観心本尊抄」

『十界互具これ説く』

十界互具とは、私たちの生命や心に地獄から仏に至る10の境地(十界)のすべてが互いに備わっているという法華経の教えです。十界とは「地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上・声聞・縁覚・菩薩・仏」の10種類に分けたものです。互具とは単独で存在するのではなく、互いが互いを兼ね備え影響し合っています、人と人とがお互いに理解し合い誰もが優しい心で生きていくことが出来れば安穏な平和、家庭が出来るのです、自分自身の考えでなく相手の事が考えられる心が大切かと思います。お題目を唱え仏様の御加護を受けてはいかがでしょうか、倖せを願うならばお題目を唱えましょう。合掌

南無妙法蓮華経。

# 悔いのない生き方

今夏も仕事で何人かの方のターミナルケア（最期まで自分らしく穏やかにすごせる様に支える）の介護をさせて頂きました。御利用者の生活一般で何を望んでられるのか？その方の思いに寄りそう事がどれほど出来るかはわかりませんが、できるだけの思いを叶えてもらいたいと思い仕事をしています。

ある女性は最後まで病気と戦いながらも、自宅で妻、母、祖母、主婦として毅然に振る舞われていました。ベット上で自力では体が動かせない状態になり、激痛の中痛み止めを使用する時も、勇敢に「家族と会話が出来なくなる。家族の声が聞こえなくなるから最少限にしてほしい。」訴え続けられました。

最後にお会いしたのは亡くなられる20分前でした。訪問中に意識が朦朧とする中、体をさすっていると、ひと粒の涙を流されました。心の中で御題目を唱え、「よく頑張れましたね。ご立派です。」と伝えました。会社に戻ると訪問先から「今息を引き止りました。」とご家族から連絡がありました。最後まで志しの高い凛とした女性でした。

もう一人の方は、生きる為に過酷な手術にたとえ少しでも治療の

可能性があれば チャレンジする方でした。全身に癌の転移が見られていました。脳に2度目の再発で歩行が困難になった時 なんのためらいもなく「手術します！」と返答されました。

まわりは年齢も80才を越えているので このままで少しでも余生を過ごす事もあるのではと伝えましたが、現状維持する生き方よりチャレンジする生き方がしたいと強く再手術を望まれました。

結果は以前より状況は良くない方向に進んでしまいました。しかしその中でも何か御本人様らしい生き方は…。お元気な頃は毎日金華山を登山する事が日課でした。自然が歩く事が大好きな方でした。退院して介護を受けながら、車イスで外出して青空を見て風を感じると表情はとても良くなられました。ベッドで話しかけると、目の動きや微妙な指先の動きで伝えて頂けました。亡くなられた時は声をかけると「ハ～イ」と返事をされるような穏やかな表情でした。

今、自分らしく生きる事を考えています。今年も自然災害が勃発で尊い命があっという間に奪われました。今日のこの一日をこの時を悔いのないように大切にしたいと思い、日々御題目を唱え精進したいと思います。

## 〈9月の行事予定〉

9月13日(日) 10:00～ 宗祖日蓮大聖人龍口報恩会

鬼子母尊神
七面大明神 ) 祈祷会

9月23日(水) 13:00～ 秋季彼岸中日法要会

## 〈9月住職の予定〉

寺院にて 法務

9月1日～6日まで私用につき不在

## 〈9月の予定〉

| | | |
|---|---|---|
| 9月6日(日) ～ 12日(土) | 各々の時間で ↓ | 清掃、準備 ↓ |
| 13日(日) | 法要後 | 片付け、準備 |
| 14日(月 ～ 22日(火) | 各々の時間で ↓ | 清掃、準備 ↓ |

※ 皆さんで、お会式会に向けてお花広げましょう!!